

1 ex., ヘリポート; 2 exs., 大山, 25. III. 2015, 小島採集.

請島初記録. 本種はこれまで奄美大島および沖縄島からのみ知られていた(滝沢, 2007). 本種ならびに次種は, 請島からは初のツツハムシ亜科の記録となる.

2. キボシツツハムシ *Cryptocephalus perelegans* Baly, 1873

2 exs., 大山, 25. III. 2015, 小島採集.

請島初記録. 本州, 八丈島, 四国, 沖ノ島, 九州, 対馬, 五島列島, 男女群島, 平戸島, 甌島, 種子島, 屋久島, トカラ列島, 口永良部島, 奄美大島, 沖永良部島, 沖縄島, 久米島, 北大東島, 宮古島, 宮古島, 波照間島, 石垣島, 石表島, 与那国島および台湾に分布している(滝沢, 2007; 川畑, 2010). 本種は地域によって色彩の変異が大きく, 研究者によっては, 前胸背板の色彩や鞘翅の斑紋パターンなどにより亜種および変種として扱っている(Chûjô, 1935; Kimoto, 1974).

ノミハムシ亜科 Alticinae Newman, 1835

3. キイロミゾアシノミハムシ基亜種 *Hemipyxis foveolata foveolata* (Chûjô, 1958)

3 exs., 池地, 25. III. 2015, 小島採集.

請島初記録. トカラ列島中之島, 奄美大島, 沖縄島および久米島に分布する(東ら, 2002; 滝沢, 2012). 奄美群島における記録は少なく, 今回の報告は2島目の産地となる.

4. カワリヒゲブトノミハムシ *Nonarthra amamiana* Chûjô, 1957

1 ex., 大山, 25. III. 2015, 小島採集.

請島初記録. これまで, 奄美大島, 沖縄島および北大東島から記録されている(滝沢, 2012; Lee, 2014).

引用文献

- 東 清二・屋富祖昌子・金城政勝・林 正美・小濱継雄・佐々木健志・木村正明・川村 太, 2002. 琉球列島産昆虫目録, 594 pp. 沖縄生物学会, 沖縄.
- Chûjô, M., 1935. Chrysomelidae of Loo-Choo Archipelago (I). Trans. Nat. Hist. Soc. Formosa, 25: 69-89.
- 川畑喜照, 2010. 伊豆諸島八丈島の甲虫 VII. 神奈川虫報, (172): 29-39.
- Kimoto, S., 1974. On some infraspecific variation of chrysomelid beetles (Coleoptera) occurring in the Ryukyu Archipelago. Kontyû, Tokyo, 42: 270-282.
- 本元新作・滝沢春雄, 1994. 日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説. 539 pp. 東海大学出版, 東京.
- Lee, C.-F., 2014. Review of the genus *Nonarthra* Baly (Coleoptera: Chrysomelidae: Galerucinae: Alticinae) from Taiwan and Japan, with descriptions of two new species. Jpn. J. syst. Ent., 20 (2): 251-263.
- 水田 拓, 2016. 奄美-その自然と概要. 水田 拓 (編著), 奄美群島の自然史学 亜熱帯島嶼の生物多様性: 1-17. 388 pp. 東海大学出版, 東京.
- 中峯浩司, 2006. 奄美群島請島 2004 年 9 月の昆虫類. 鹿児島県立博物館研究報告, (25): 63-67.
- 重藤裕彬・吉武 啓, 2018. 奄美群島請島において冬季に採集されたハムシ類. さやばねニューシリーズ, (29): 17-19.
- 滝沢春雄, 2007. 日本産ハムシ科生態覚書 (3). 神奈川虫報, (158): 37-48.
- 滝沢春雄, 2012. 日本産ハムシ科生態覚書 (6). 神奈川虫報, (177): 33-51.

(2018年7月26日受領, 2018年8月31日受理)



Villastrigo, A., Jäch, M.A., Cardoso, A., Valladares, L.F. & Ribera, I., 2018. A molecular phylogeny of the tribe Ochthebiini (Coleoptera, Hydraenidae, Ochthebiinae). Systematic Entomology, early view. DOI: 10.1111/syen.12318

セスジダルマガムシ属 *Ochthebius* を中心に分子系統解析が行われた. 日本産種は以下の通りとなった. 特に変更はないが, *Enicocerus*? とされていたグループは真正 *Enicocerus* と異なり *nitidipennis* 種群であることになった (以下, ダルマガムシを略).

*Ochthebius* (*Asiobates*) . . . エゾセスジ  
*Ochthebius* (*Ochthebius*) . . . 残りの種  
*foveolatus* 種群 . . . コセスジ  
*marinus* 種群 . . . ニッポンセスジ  
*nitidipennis* 種群 . . . アマミセスジ, ハセガワダルマ, ホンシュウセスジ, ナカネダルマ  
*punctatus* 種群 . . . セスジ, シオダマリセスジ  
*vandykei* 種群 . . . イセコブセスジ, クロコブセスジ, イズモコブセスジ, セトコブセスジ, キタコブセスジ

(吉富博之 愛媛大学ミュージアム)